

令和2年度第3回 新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会 会議概要

日 時 令和3年2月25日(木) 午前9時30分～

会 場 白根健康福祉センター 3階多目的ホール

<p>午後 2 時 事務局</p>	<p>開会</p> <p>これより、令和 2 年度第 5 回新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会を開催させていただきます。</p> <p>私は、本日の進行を務めさせていただきます南区健康福祉課課長補佐の片桐と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日も新型コロナウイルス感染症防止のため、皆様からマスク着用、消毒のご協力を頂いております。ご配慮ありがとうございます。寒いですが、室内の換気等を行うため、暖気が少し薄まると思います。ご不便をおかけすることになりますが、感染防止の対策になりますので、何とぞお許しいただきたいと思います。</p> <p>次に、本日の会議は会議録を作成する関係上、内容を録音させていただき、記録のため会議の様子を撮影させていただきますので、あらかじめご了承をお願いいたします。</p> <p>また、本日も南区の四つの障がい者団体が運営する「わいわいカフェ」を通じコーヒーのサービスをさせていただきます。</p> <p>次に、当委員会の開催は、公開であるため、後ろに傍聴席を設けてございますが、本日は、いらっしゃらないようでございます。</p> <p>それでは、開会にあたりまして、南区健康福祉課の佐藤課長よりごあいさつ申し上げます。</p>
<p>健康福祉課長</p>	<p>皆さん、改めましておはようございます。ようやく大雪の影響も徐々に消えて、駐車場はまだ雪が残っていますけれども、これまでのように駐車場の確保でご迷惑をおかけせずに今日を迎えられたかと思えます。</p> <p>本日は、お忙しい中、当会議にお集まりいただきまして、ありがとうございます。これまで、委員の皆様には、多大なご負担をおかけいたしましたがおかげさまでパブリックコメントの手続きも完了して、本日を迎え、計画を形にすることができています。ありがとうございます。</p> <p>振り返りますと、昨年、いよいよ計画策定に着手という段階で新型コロナウイルス感染症という想定外の事態が起こりまして、計画の策定そのものが危ぶまれた時期もありました。そのような状況の中で、本日を迎えられたのは、委員の皆様をはじめ、地域の方々、事業所の方々など多くの関係者のご協力、ご尽力の賜物であると、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>本日の委員会ですが、次第をご覧のとおり、多くの議事を予定しております。まず、時期計画の最終案についてご確認いただき、続いて</p>

	<p>令和3年度の分野別計画の取組み案を説明させていただきますので、ぜひ皆様から忌憚のないご意見をよろしくお願ひいたします。</p> <p>その後、今年度の地区別計画の取組み状況を各地区の皆様から報告を頂きまして、それを共有することで、今後のさらなる活動推進に活かしていただければと思っております。当然のことですが、計画は作って終わりではありません。計画の内容が実行され、南区の地域福祉がさらに深化し、計画の表紙にありますとおり「支えあいのまち・ふるさと南区」につながりますよう、引き続きのご協力をお願いいたします。</p> <p>以上簡単ですがごあいさつとさせていただきます。本日も、どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>続きまして、南区社会福祉協議会の小林事務局長よりごあいさつ申し上げます。</p>
南区社会福祉協議会事務局長	<p>皆様、おはようございます。南区社会福祉協議会の小林でございます。</p> <p>皆様方には、前計画である第2次南区地域福祉アクションプランの最終年ということで、今年度、次期計画の策定にご尽力をたまわりましたこと厚く御礼申し上げる次第でございます。特に地区別計画において、今年度の振り返りや次期計画の策定と、コロナ禍で制約のある中、皆様方からは多大なるご理解とご協力を頂きましたこと、重ねて御礼を申し上げます。大変ありがとうございました。</p> <p>私ども社会福祉協議会では、地域の皆様と計画を策定させていただいた中で、いろいろなご意見、ご要望を頂いたところでございます。そういったご意見、ご要望をできるだけ区の社会福祉協議会の事業の中で活かしていければと考えております。</p> <p>また、事業を実施する段においては、皆様方をはじめ地域の皆様方からもご協力を頂く場面が多々出てくるかと思いますが、そのときはまたよろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>本日は机上に2月21日に新聞折り込みで発行させていただきました、私どもの広報紙を配らせていただいております。今回は、ボランティア・市民活動センターだよりと合併号ということで、二つのものを一緒に出させていただきます。ご一読いただければ幸いに存じます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>本日は皆様、ご多用のところお集まりいただきまして、大変ありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、本日、お配りいたしました資料の確認をお願ひしたいと</p>
事務局	

<p>田辺委員長</p> <p>事務局</p>	<p>思います。まず、事前に配付した資料でございますが、本日の会議次第が1部、資料1「南区地域福祉アクションプラン（最終案）」ですが、表紙から目次までページ番号はございません。ページ番号につきましては、序章からページ1が始まり、最後が70ページとなっております。</p> <p>次に本日配付の資料についてです。委員名簿、本日の席次表が両面印刷となっておりますものが1部ございます。なお、本日は田中順子委員が所用のため、欠席となっておりますので、ご了承ください。資料2「令和3年度南区地域福祉アクションプラン（分野別計画）進行管理表」が両面印刷で表紙を除き5ページとなっております。資料3「令和2年度南区地域福祉アクションプラン（地区別計画）進行管理表」が表紙を除き両面印刷で12ページとなっております。資料4「第3次南区アクションプラン地区別計画評価表＜2021～2026＞」が片面印刷で2ページとなっております。資料5「新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会開催要綱の題名の一部改正について」が1部。資料6「新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会委員の推薦について」が1部。最後に「社協だより」が1部となっております。</p> <p>以上ですが、落ち等がありましたら、予備と交換させていただきますが、いかがでしょうか。次に進みます。</p> <p>次第3、議事についてです。</p> <p>ここからは、新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会開催要綱の規定により、田辺委員から委員長役で進行をお願いし、山田ひろ子委員には副委員長役をお願いいたしたいと思っております。</p> <p>それでは、お願いいたします。</p> <p>皆さんおはようございます。委員長の南区社会福祉協議会選出の田辺でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、次第に沿って本日の会を進めていきたいと思っております。</p> <p>私ども委員の役割といたしましては、この計画について意見や評価を入れていくということでもありますので、何分よろしくお願ひしたいと思っております。</p> <p>本日は、沢山の議事が用意されております。速やかな進行にご協力をお願いいたしまして、これから開催したいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>まず、議事の（1）について、事務局より説明をお願いしたいと思います。</p> <p>地域福祉担当の星野でございます。</p>
-------------------------	--

私のほうからは、パブリックコメントの結果及び南区地域福祉アクションプランの最終案について説明させていただきます。

先ほど、課長のあいさつの中でもパブリックコメントを行った旨の話がありましたが、去る12月21日から1月19日の間、地域福祉計画について、本庁及び各区役所が一斉にパブリックコメントを実施いたしました。

実施した結果ですが、本庁、中央区、西区の計画には意見書の提出が若干あったと伺っておりますが、南区も含めそのほかの区は意見はございませんでしたので、ご報告させていただきます。なお、パブリックコメントの結果については、今後ホームページ等で公表をしていきたいと思っております。パブリックコメントの結果については以上です。

次に、次期計画の最終案について説明をさせていただきます。お手元の資料1「南区地域福祉アクションプラン最終案」をご覧ください。

この案については、次期計画の冊子をイメージしていただくためカラー刷りとなっております。ページ番号はありませんが、表紙から少しめくっていただき、目次からご覧ください。

全体的な構成については、現計画とあまり変わりませんが、内容につきましては、委員の皆様からご意見などを頂きながら、調整してきたものであります。

それでは、概要になりますが説明してまいります。1ページ目、序章については、「地域福祉とは、地域福祉計画とは」ということで、計画の中身に入る前段に基本的な事項が表記されています。2から3ページは、地域福祉計画と地域福祉活動計画の関係やほかの行政計画との関係が表記されています。

次に4から5ページ目、第1章の計画の概要です。ここでは、南区の概要（すがた）、基本理念、基本目標について表記されています。この基本理念、基本目標については、第1回目の委員会で諮ったものを掲載させていただいています。

6ページは、計画の構成、計画期間が表記されております。計画期間の文中には、コロナの影響で推進委員会や座談会の開催が制限されたことから、計画期間内においても必要に応じて計画の追記や見直しができる旨を表記しております。

次に7ページからは、第2章の南区地域福祉計画、いわゆる分野別計画になります。この章は、皆様にご意見や情報、ご指摘を沢山頂いた章になります。冒頭の体系図をご覧ください。

基本目標があり、その下に大きく四つの分野別の大項目に分けられ

ており、大項目の下にはいくつか小項目が枝分れしております。この四つの分野の素案については、7月に各分科会で意見交換し、その後事務局のほうで文言の修正等を行い、現在に至っております。

体系につきましては、全体的に現計画を踏襲する小項目もございますが、見直しを行い、小項目の名称を変更したもの及び新たな小項目を加えた分野もございます。

前回の推進委員会でも説明しましたが、8ページ以降の各分野の説明には、この冊子だけではくわしく説明しきれない情報や各分野にかかわる制度について、情報更新などがあります。そのため、各分野の制度に関連した「二次元コード」をいくつか挿入し、随時新しい情報を得られるよう工夫を施しております。各分野の計画詳細については、以前からお話をさせていただいていることから、本日は説明を割愛させていただきます。

次に28ページ、第3章の地域福祉活動計画、いわゆる地区別計画です。この地区別計画については、社会福祉協議会の呼びかけにより地域座談会などを開催し、皆様からのご支援を頂きながら、現状や課題を抽出し、まとめたものです。

まず28ページの章の冒頭の四角囲みの部分をご覧ください。地区別計画は、地域の方々が地域福祉活動に目標を設定して進める計画です。本計画は、地域コミュニティ協議会、地区社会福祉協議会、地区自治協議会、アクションプラン推進委員会などの方々が、令和2年に発生した新型コロナウイルスの感染防止に十分な配慮をしながら、最小限度の規模において座談会を開催し策定したものです。そのため、本計画の期間内であっても、必要に応じて随時新たな課題に対する取り組みの追加などを柔軟に行い、地区ごとの推進目標に向かってよりよい地域づくりを進めていきますとあります。

先の分野別計画もそうですが、計画期間内においても、必要に応じて計画の追記や見直しなどを柔軟に行うこととしています。各地区の取り組みについては、全体的に支え合いのしくみづくりを視野に入れたものになっており、若い世代との連携、ごみ出しや買い物支援、地域の見守り活動、認知症の理解を深める活動、高齢者の活躍の場の創出、中には移動支援の取組みを検討するなど、これからの少子超高齢社会を見据え、地域の支え合いや助け合い、つながりを一層深めていくような表記も随所に見受けられる計画となっております。

今年度は、コロナの影響もあり、計画の策定にあたっては、地域座談会などを終えた後に、社会福祉協議会で素案を作成し、最終的には

<p>田辺委員長</p>	<p>地域の代表者などから文面や計画内容を確認していただき、策定作業を終了しています。その後、1月28日付で、地区別計画の初校版を委員各位に送付させていただいており、何かご不明な点等があったら事務局に連絡を頂くことになっておりましたが、特に問い合わせ等はございませんでした。その後、事務局のほうで精査いたしまして、いくつか一部修正をさせていただきましたので、ご報告申し上げます。</p> <p>主な修正点ですが、各地区にあります人口グラフになります。基となるデータにはいくつかの種類がございます。初校の後に種類を変えるなど見直しをさせてもらい、入れ替えを行っております。そのほかの修正ですが、取組みに書かれている専門用語について、なるべく統一を図るなど字句修正を行い、大通地区については、初校はページの色がレモン色としていたのですが、色が薄く輪郭が見えにくいということで、見やすい色に変更するなどして本日の資料となっております。</p> <p>次に54ページ、第4章の進行管理と評価体制が表記されています。これも現計画と変更はございません。</p> <p>最後に資料編です。資料編は55から58ページまで計画の策定経過を時系列で表記しています。59から60ページは、当委員会の開催要綱です。なお要綱は軽微な一部改正をさせていただきますので、後ほど説明いたします。</p> <p>次に61ページは委員名簿になります。字句に誤り等がございましたら、後ほど事務局に教えていただければと思います。</p> <p>最後に62ページからは統計データになります。この統計については、分野別計画の内容に関連した統計をいくつか列挙させていただいております。</p> <p>以上が次期計画の最終案についてですが、今後の予定といたしまして、本日の委員会の後に事務局でさらに点検・確認をいたしまして、3月の第1週に印刷・製本をかけ、3月下旬までに本冊と概要版が納品予定となっております。納品後は、委員の皆様を送付させていただきたいと思います。そのほかの配布先については、現在検討中ですが、主に区内の福祉関係機関、出張所や各コミュニティ協議会などを予定しています。</p> <p>以上で議事の(1)について説明を終わります。</p> <p>今、事務局から(1)の議事について説明がございました。本日の資料が次期計画の最終案ということでございます。最終案について、何か質問、意見はございませんか。誤字脱字や用語が違うなどのご指</p>
--------------	---

	<p>摘でもけっこうです。</p> <p>また、第3章の地区別計画については、コロナの影響で、委員会で情報交換する機会がありませんでしたので、ほかの地区の内容で何か聞いてみたいことがありましたらお願いしたいと思います。何でもけっこうですので、ご意見、質問がございましたら、お願いしたいと思います。</p>
小柳委員	<p>69ページの喫煙、飲酒、運動習慣についてのところですが、一番下に合計となっているのですが、合計ではなくて、全市とか何かではないかと思うので、ご検討をお願いしたいと思います。</p>
田辺委員長 事務局	<p>69ページの今の質問に対して、よろしいですか。</p> <p>ありがとうございます。合計ではないので、ここの表現が間違っておりましたので、修正させていただきます。</p>
田辺委員長 上杉委員	<p>それでは、ほかに何かございましたら。</p> <p>66ページの高齢化の状況ですが、上の表の高齢化率と下の表の高齢化率で多少なりの差があるのは、どうしてなのかとお伺いしたいのですが。</p>
事務局	<p>まず、高齢化の状況と要介護・要支援認定者数ということで、時点が高齢化の状況につきましては、令和元年度末現在の数字。出典元も新潟市の総務部総務課がまとめたものとなっておりますし、それに対しまして、要介護・要支援認定者数につきましては、令和2月5月現在ということで、時点に若干のずれがございますし、一応、出典元も福祉部高齢者支援課の資料を基に作成しておりますので、恐らくはその辺のところの原因で若干の高齢化率の数字が合わないということになろうかと思えます。</p>
上杉委員	<p>令和元年度末と令和2年の現在ということでの差ということで理解したほうがよろしいのでしょうか。</p>
事務局	<p>そちらも原因の一つでございますし、人口等の集計につきましては、若干総務部のほうでまとめたものと、福祉部のほうで入手してまとめたもので、そこでも差があると聞いておりますので、その影響があるのかなと思っております。</p>
田辺委員長	<p>ありがとうございました。ほかに何かございますか。いいでしょうか。では、最終案についてほかに意見がなければ、(1)の議題は終わりたいと思います。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>引き続きまして、議題(2)について、事務局からお願いいたします。</p> <p>これより、分野別計画の取組みについて、資料2を基に説明となり</p>

<p>事務局</p>	<p>ますが、項目が多く時間の関係もございますので、本日は各分野から主な取組みについて説明をさせていただき、そのほかは資料でご確認をしていただければと思います。</p> <p>また、資料2の進行管理表のフォーマットについては、時期計画の開始分からよりシンプルにした表に変更をさせていただきました。なお、これから説明します取組みについては、予算措置を伴うものもございます。予算については基本単年度会計で、議会の議決事項でもあり、毎年、予算が確実に担保されるわけでもありません。また、取組みについては、経過期間の途中で見直しとなる場合もあることから、単年度ごとに計画、実績、評価を表記していくことにしたいと思えます。</p> <p>それでは、子ども・子育て支援分野から説明を開始いたします。</p> <p>おはようございます。子ども・子育て支援分野担当の児童福祉係吉田と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>資料2の1ページをご覧ください。子ども・子育て分の令和3年度事業の取組みについて、ご説明いたします。1ページ、安心して産み子育てできるまちを基本目標としまして、（1）妊娠期からの切れ目内支援、（2）地域で支えるゆとりある子育てへの支援、（3）子育て支援施設の充実を三つの取組みの柱として進めてまいります。</p> <p>一つ目の妊娠期からの切れ目ない支援につきましては、今期より目標に「産み」という言葉を加えましたとおり、妊娠期からの支援に取り組んでまいります。孤立感や不安を抱えながらの出産や子育てをしている保護者の方に対し、各種健診や相談会、助産師や保健師による訪問を通じ、情報提供や相談の場を作り、さまざまな家庭の状況に合わせたきめ細かい支援を継続的に行います。また、保護者同士の交流のきっかけの場として、子育て広場や、資料内でBPとかNPということで表記しておりますが、子育て支援プログラムを実施しています。</p> <p>次に、二つ目の地域で支えるゆとりある子育てへの支援につきましては、子育て支援リーダー、オーエンジャーみなみによる子育て広場の開催などにより、身近な地域で気軽に参加できる居場所を作るとともに、保護者同士のネットワークづくりを目指します。支援リーダーのスキルアップや地域住民の方との意見交換を行いながら、内容の充実、また参加者同士の交流を深めることで、互いに支え合える関係づくりを目指してまいります。</p> <p>また、地域で子育てを支え合うファミリー・サポート・センター事業につきましては、必要な方へ支援が届くよう、制度の周知を行いま</p>
------------	--

<p>田辺委員長</p>	<p>す。</p> <p>三つ目の子育て支援施設の充実につきましては、子育て支援センターや児童館、児童センターの運営により、子育て中の親子が気軽に利用できる居場所を提供いたします。南区は市内でも子どもの数に対する児童館の数が多く、乳幼児から高校生まですべて利用されており、異年齢の交流の場ともなっています。こうした資源を生かしながら、安心して過ごせる居場所としての活用を行うとともに、情報や遊びの提供を行い、地域や学校などの関係機関とも連携しながら、子どもたちの健全育成、健康増進を目指してまいりたいと思います。</p> <p>以上、子ども・子育て支援分野の取組みについて、説明を終わります。ありがとうございます。</p> <p>ご意見やご質問については、最後に全分野まとめて行いたいと思いますので、よろしくお願ひします。</p> <p>引き続きまして、障がい者・生活困窮者支援の分野についてお願ひいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>障がい者・生活困窮者支援分野担当の障がい福祉係の関本と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>令和3年度以降の障がい者・生活困窮者支援分野の取組みについて説明いたします。2ページをご覧ください。障がいのある人もない人も安心して暮らせるまちを基本項目として、（1）福祉サービス利用の相談体制充実、（2）障がいのある人と地域との交流、（3）自立支援体制の充実と三つの柱を取組みとして進めていきます。一つ目の相談体制につきましては、障がい者のさまざまな相談の窓口である基幹相談支援センターと区役所が集まるエリア担当者会議やそれに加え障がいサービスの計画を作成する相談事業所が集まる相談支援事業所連絡会を開催して情報を共有しながら、相談の立場に立った相談体制を進めていきます。</p> <p>また、どこに相談したらよいか分からないといった方を少しでも救えるよう、区だより、社協だよりを利用し、周知を図っていきます。</p> <p>二つ目の地域交流につきましては、障がいに対する理解を深めてもらうため、そして障がいのある人も地域のイベントやまつりに参加できるように、地域の受入体制づくりのために講座や研修を行います。また、子どもたちにも障がいに対する理解を深めてもらうために、学校の福祉教育で講座や研修を開催し、障がいのある人も地域で安心して暮らすことができるよう、地域づくりを進めていきます。</p> <p>三つ目の自立支援につきましては、障がい者関連では、南区障がい</p>

<p>田辺委員長 事務局</p>	<p>者自立支援協議会を開催し、地域の課題解決に向け取り組んでいきます。</p> <p>また、南区地域福祉ネットワーク会議による多職種の連携を検討し、よりよいサービス提供ができるよう取り組んでいきます。</p> <p>生活困窮者関連では、就労支援を実施します。ハローワーク新津と連携し、経済的な自立に向けた支援を行います。そのほか、関係機関と連携した相談支援、南区支援会議に取り組んでいきます。</p> <p>以上、障がい者・生活困窮者支援分野の取組みについての説明を終わります。</p> <p>引き続きまして、高齢者介護者支援・健康寿命の延伸分野についてをお願いいたします。</p> <p>おはようございます。高齢者介護者支援・健康寿命の延伸分野を担当します、健康福祉課高齢介護担当の高橋と申します。</p> <p>私からは、令和3年度以降の高齢者介護者支援・健康寿命の延伸分野の取組みについて、この主なものを説明いたします。資料の3ページをご覧ください。高齢者も安心して暮らせるまちを基本目標に（1）高齢者・介護者を見守り支え合うしくみづくり、（2）認知症対策と在宅医療に対する理解の推進、（3）健康寿命の延伸の三つを具体的な目標として設定させていただきました。順に説明いたします。</p> <p>一つ目の目標につきましては、その具体的な取組みとして、ふれあい・いきいきネットワーク事業や配食サービスを通じて、地域における緩やかな高齢者への見守り活動の推進と定期的な安否確認をそれぞれ行っていきます。また、地域住民同士による支え合いや助け合いの活動の支援ということで、地域の茶の間の新設及び開催回数増に向けた取組みや区や圏域でのしくみづくり会議やフォーラムの開催など、南区における支え合いのしくみづくりの活動を引き続き、支援していきます。さらに介護教室について、今年度はコロナ禍の影響によりやむなく中止とさせていただきましたが、令和3年度では区内3圏域でそれぞれ開催する予定です。</p> <p>次に、二つ目の目標につきまして、認知症に対する正しい知識の普及啓発、認知症高齢者やその介護者に対する見守り支援の取組みとして、認知症カフェについて、区だよりを通じた情報発信を行っていくほか、地域の茶の間等で月に1回程度、認知症予防の出前講座を開催し、認知症予防の取組みもあわせて進めていきます。</p> <p>また、在宅医療啓発のための講演会を引き続き開催する予定にしており、新型コロナウイルスの感染症対策として、今年度はオンライン</p>
----------------------	--

<p>田辺委員長 事務局</p>	<p>でも受講できるよう体制を整え、開催しました。令和3年度も十分な感染予防対策を行ったうえで、区内の保健医療福祉の関係機関と連携して取り組んでいきます。</p> <p>最後に三つ目の目標につきまして、健診の受診率向上を目的として、現在、特定健診とがん検診が一緒に受けられるミニドック型集団健診を実施していますが、令和3年度は白根健康福祉センター、味方公民館、月潟農村環境改善センターの3会場で実施する予定です。周知については、区だよりや受診券に同封するパンフレットに掲載するほか、これまで同様、コミュニティ協議会に委託をし、協力を得ながら進めていきます。また、南区では喫煙や毎日飲酒する人の割合が高く、運動習慣がある人の割合が低いという健康課題がありますので、だれもが取り組みやすい「はかろう体重！あるこう南区！大作戦」を継続して実施し、食事や運動、糖尿病などの講座もあわせて実施することで、健康づくりを推進する取組みを進めていきます。</p> <p>地区保健会活動の推進については、地区の行事などの機会に健康づくりに関する周知啓発の活動を行っておりますので、引き続き支援してまいります。</p> <p>以上、高齢者介護者支援・健康寿命の延伸分野の取組みについての説明を終わります。</p> <p>最後になりますが、地域づくり分野について、お願いいたします。</p> <p>南区社会福祉協議会の漆原です。よろしくお願いいたします。</p> <p>地域づくりでは資料の4ページから説明させていただきます。(1)地域のボランティアや福祉活動の情報発信と活動支援というこちらについては、ボランティアの情報誌の発行を行います。年2回実行するうちの1回を社協だよりの合併号として南区に全戸配布し、今、皆様のお手元に届いているような形で、広く住民に向けて発信していきたいと思っております。</p> <p>次に、ボランティア養成講座の開催と活動の場の紹介については、ボランティアをする側だけでなく、していただく側の育成に力を入れたいと考えています。支援を上手に受ける力、受援力を高めて活動の場の創出につなげていきたいと考えています。総合的な学習の時間をはじめとした福祉教育の充実については、障がい者や高齢者の体験を中心としたものから、当事者との交流を通して「ともに生きる力」をはぐくむプログラムづくりを推進していきたいと考えています。ボランティア活動支援については、活動に伴う相談援助及び活動を安定的に続けていける土壌づくりとして助成金申請について積極的な援助</p>
----------------------	--

	<p>を行っていきたいと考えております。</p> <p>続きまして、(2) 地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン活動の支援についてです。2021 年度も引き続き、地域の茶の間、サロン活動に対する相談支援を行います。内容は、ご覧のとおりとなりますが、立ち上げ支援や地域の茶の間やサロンが抱えている移動の課題について検討を行います。今年度は、ちょうど明日にこの移動の勉強会を行うのですが、区全体の勉強会を開催いたします。2021 年度は、地域や団体ごとの課題に取り組めるよう、出前講座のような形で勉強会を 2 か所 2 回実施を予定しております。</p> <p>続きまして、5 ページ目、(3) 個別・地域課題の解決に向けた取り組みについてです。こちらは、主にコミュニティソーシャルワーカーが中心となって社会福祉協議会内や関係間と連携し、共同して取り組む内容となっております。内容としては、ひきこもりに関することや個別相談に関する相談体制の充実です。回数をご覧のとおりとなりますが、ひきこもりを含め、丁寧にケース会議等に取り組みたいと考えております。社会福祉協議会からは以上です。</p>
事務局	<p>健康福祉課星野です。</p> <p>地域づくりの分野の引き続きになります。5 ページ (4) 避難行動要支援者に対する支援の充実について説明いたします。主な取り組みですが二つございます。まず、2 番目にあります、地域の避難行動要支援者登録対象者への意識付けについてです。これは災害時に自力で避難できない方を対象に民生児童委員の方々からご支援を頂き、個別訪問を行い、制度の周知や登録を図るもので、今年度は年一回実施しており、次年度も同じく一回実施いたします。</p> <p>次に、自主防災訓練を通しての要支援者支援訓練の実施です。これは制度の実効性確保のため、自主防災訓練における要支援者支援訓練の実施を推進しています。今年度は、市の方針で感染対策訓練が中心となったため、要支援者支援訓練の実施が 2 割強となっておりますが、感染症収束を見据えて重点推進していく予定ですので、次年度は 7 割以上を目指したいと思っております。</p>
田辺委員長	<p>以上で、令和 3 年度の分野別計画案の説明を終わります。</p> <p>ただいまの令和 3 年度主な取り組みについて説明がございました。資料にあります案に対して、ご意見やご質問があれば挙手をお願いしたいと思います。なお、議事録作成上、マイクがわたりますので、発言は最初にお名前を言っていただいてからお願いしたいと思いますので、どうぞご意見、ご質問がございましたら、お願いしたいと思います。</p>

小林委員

す。

内容的にはあまりないのですけれども、この中で茶の間の件について何点か出ていると思いますが、先日、アクションプランの評価のときに、社会福祉協議会の方にもお話をしたのですけれども、昨年、臼井地区のほうで新しく茶の間が1件開設されました。そのときに、社会福祉協議会か健康福祉課だと思うのですけれども、開設される方とお話しされて、ここにしましょう、あれにしましょうということでお話をされたと思うのですけれども、結局、茶の間をやるといふか、開設するといふところまで来て、やっと地域のほうにやりますからお願いしますというお話が来たのです。そうすると、実際問題、その地区にいる方がやるのであれば、それは全然問題ないのですけれども、今回、全く違う東区だか北区の方が、住むわけでもないのに、そこに茶の間を開設するといふことで、全く知らない人が地域に入ってくるということがありました。これについては、まずそういう方がいて、ここはどうかという社会福祉協議会か健康福祉課が地域のほうに投げかけて、お話をしながら茶の間を作っていたほうがいいのではないかといふことで、社会福祉協議会の方にはお話をさせていただきました。なぜかといふと、今、大変苦勞されているのです、住民の方が来なくて。それはなぜかといふと、やはり知らないところに知らない人が来て、知らない人が集まるわけがないので、地域の方が協力して開設するといふことが一番ベストかと思うのです。私は、地域のコミュニティの会長を何年かさせていただきましたけれども、地域によそ者と若者が来ないと地域は活性しないといふことだと思ふのです。だからよそ者が来ることは全然問題ないのですけれども、活性化をするためにどのようにやっていくかといふことなので、きちんと入り込めるような感じで地域の茶の間を作っていたらいいかと。私も、一時、地域の茶の間をやろうと思いましたが、今回、一つできたので、置いておりますけれども、やはりまず地域に投げかけていただきかけたといふことです。コミュニティ協議会の役員もいます。地域で活動されている方もいますし、また茶の間もやっている方もおられるので、まずこういうお話があるので、地域にどうですかと。いかがですか。この地域はどうですかといふことを投げかけていただいて、その中で地域の方と、新しくやられた方と社会福祉協議会とお話をし、いいものを作っていたほうが、スムーズに茶の間が開設できるのかなと。先ほどありましたけれども、地域の方がやるのであれば、それはもう顔が知れているし、またやるといふことは、仲間を連れてきてやる

<p>田辺委員長 小林委員 田辺委員長 山田（久）委員</p>	<p>と思うのですけれども、よそ者が来るときには、やはり一旦身構えるので、そこをうまくやられたほうがいいと思います。ですから、開設をします、支援しますというだけではなくて、茶の間がきちんと地域で活動できるような支援をされたらいいかと思いますので、それだけ意見です。</p> <p>それともう一点ですが、最後の避難行動要支援者に対する支援の充実ですけれども、各自治会などの確認などがございますけれども、私も今回、防災士のほうを取らせていただきましたけれども、南区で防災士が約40名ほどいるらしいのですが、私もまた防災士の会合にも出させていただくと思いますけれども、各地区に防災士というのがおられますので、そういう方も含めて、この支援もしたほうがいいと思いますので、もし文言等、また防災士会のほうに聞かれるか分かりませんが、文言等は入ってもいいのかという考え方です。</p> <p>これは回答は要りませんね。</p> <p>要りません。</p> <p>ありがとうございました。ほかに何かございましたら。</p> <p>一件だけ質問をさせていただきます。地区保健会活動というものが3ページ一番下にあります。この保健会というものは、南区独自の制度であるお聞きをしているのですが、保健会制度がないほかの区では、これに代わるような活動というのは、どのようにされているのだろうと疑問に思いましたので、もしご存じであれば、こういう取組みをほかの区ではどのようにされているのかお教えいただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。私もほかの区の状況をしっかりとお答えできるように準備してきませんでしたので、私が今までのところで、分かる範囲ですけれども、地区のコミュニティ協議会ですとか、そういうところをお願いしながら一緒に活動しているところですか、あと地区を担当している保健師等がそれぞれの区にもおりますので、地域の方と一緒に進めているのではないかと考えております。</p>
<p>山田（久）委員</p>	<p>ありがとうございます。といいますのは、地域の実情を申し上げますと、なかなか自治会のほうに地区保健推進員ということで、役員として推薦が回ってきて、実際は順繰りに当番で当てられてというようなことになるのですが、それでもなかなか引き受け手がなくて、前の前の年でしたでしょうか。くじ引きで地区の役員が回った、順番で連合の役員が回るとかというようなことも聞いていて、それがとても負担で、保健会の役員が当たったがために、具合が悪くなって病院に</p>

	<p>行って、結局、別の人が替わってというようなこともあったのですが、それなりの負担があるのだと。それが地域の実態の全部が全部そうかとは思いませんが、そういう実情もあるので、コミュニティ協議会なり、ほかに自治会なり、ほかの区でそういう形で円滑に保健推進活動がされているのであれば、むしろそういう方向性も視野の一つにあってもいいのかと思った次第です。</p>
<p>田辺委員長</p>	<p>ありがとうございました。なかなか私の地域での保健会のメンバーは、自治会の会長もなかなか困っていますという話は聞いたことがありました。ほかに何かございましたら、何でもけっこうです。</p>
<p>中丸委員</p>	<p>アクションプランと直接関係なくそれしてしまうかもしれません。たまたま今、保健会の話が出ましたので、私がかねがね疑問に思っていたものですから。といいますのは、私の地域では、自治会が24もありまして、非常に充実しています。その下に保健会があって、今まではたぶん、保健会というのは2名選出ということが永年、続いてきたかと思うのですが、それが地域でお年寄りから皆さん見守る中で、非常に戦力になってくれたと私は認識しておりました。ただ、聞くところでは、他の地区では非常に委員を選出するのに苦労していると。充足していないところもあるというようなことで、若い人たちの負担になっているという話も聞いておりました。ただ、正直言って、今回の高齢者の中で健康寿命の促進ということで、その担い手ということで保健会という名前が出ています。私も分科会に入っておりましたので質問したのですが。行政としてはどこまで保健会に期待しているのかという部分で。私も白根市時代に保健会にかかわりまして、そのときには非常に期待度が高く、それは予算面でも今よりははるかに充実しておりました。それを考えますと、今、どこまで期待されているのかなと。それなのに今回のアクションプランの第3次では、こうやって担い手として保健会という名前が出てくると。それはどれだけの裏づけがあってされているのかなと。私は地域におりまして、正直言って、新潟市は百いくつもコミュニティがありますけれども、その中の4番目の高齢化率になりました。ワーストですね。その担い手として、特に65歳が40パーセントもいる中で、担い手の若い人はどれだけいるか。日中、とにかく茶の間をやろうにも、担い手となる人はどれくらいいるかなと。この一年つぶさに見せていただきまして、日中に関してはいないなど。正直に言って、たぶん会合をやりますと、この日中の時間にやると、もし若い人が委員になると出てこられない状態です。悲観的な話で申し訳ありませんが、私はそんな意味で、女性</p>

	<p>はとにかく家庭や健康という部分では、やはり男性よりも女性のほうが、差別するようで申し訳ありませんが、向いているのだと思います。よその地区も見まして、先進地といいますか、健康寿命の先進地という、すぐ長野が出てくるわけですが、長野には単純に保健補助員というのがいまして、なおかつ食推が各自治会に必ずいます。その中で、食生活を考えたり、健康促進を考えて取り組んできたようでございます。その辺は、新潟市で健康寿命を促進するという場合に、だれが担い手になるのだろうかという部分についての議論というか、皆さんの認識があるのかどうか。愚痴るようであれですが、私は庄瀬というところは民間のそういった福祉施設はありません。たぶん中央区や西区へ行けば、健康に関する施設を持った民間の業者がいて、また保健の面でも民間のそういった団体、施設があるのですが、田舎へ来るとありません。そうすると強制的といいますか、委員という名になって、あなた申し訳ないけれども、保健会の委員になって、こういう仕事をお願いしたいと。地域から頼み込んで、あなたからこれをやってもらいたいと。そういう責任感と役割が明確にならないと、たぶん担い手のなり手もないし、周りからも尊敬されないといいますか。暇だからやっているのだといういうことで終わるのでは、やはり担い手としては育っていかないのだろうとっております。その辺がこうやって、正直言って名前が出ている団体については、それなりの所管する役所についてはきちんとした指導をお願いするところです。</p>
<p>田辺委員長 事務局</p>	<p>ありがとうございます。何か役所のほうでありますか。 ご意見ありがとうございました。また、ご意見を参考にさせていただきながら、進めてまいりたいと思います。ありがとうございます。</p>
<p>田辺委員長 西村委員</p>	<p>何かほかにもありませんか。 5ページの買い物など移動支援の検討ということですが、これは要望になると思うのですけれども、新潟日報に掲載の中で、22日でしょうか。江南区の大江山地区でコミュニティ協議会が地元の社会福祉法人の車を借りて、買い物を支援をするという記事が載っていました。これは南区のこの地区の大郷地区やうちの小林地区など、非常に買い物したいというニーズがあるのです。そういうことがありますので、行政のほうの支援していただいて、何とか将来的には解決をしたいと思っております。この制度は、一応、車両を借りてボランティアが車を運転すると。それで免許の登録、要は道路運用上の登録、運用は必要ないという趣旨の問題があります。今後、この地区も高齢化が進んでまいります。そういう意味で、小林地区だけではなくて、ほかの</p>

<p>田辺委員長</p>	<p>地域もそういうニーズがあると思うので、何とか行政の支援ですね。要は社会福祉法人。ここですと、イオンの裏にそよ風がございませよね。その車をお借りするとか、これは一応、例ですけれども、そういう場所の施設の車は、朝、送迎して、夜、迎えに来ると。その間はあいているのです。その間を利用するということも一つの手だと思うので、何とか行政にご尽力いただきたいなという要望です。</p> <p>ありがとうございました。今の件、新潟日報に載っていましたよね。私も見ました。買い物難民のために、この地区も「とくし丸」とか、いろいろなものが回ってきていますが、その辺ひとつ、行政のほうで何かありましたお願いしたいと思います。</p>
<p>西村委員 田辺委員長</p>	<p>いいです。要望ですから。</p> <p>今後、そういうことも視野に入れながら検討いただきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>何かほかにもありましたら。時間の関係もございませので、これで(2)を終わらせていただきたいと思います。</p> <p>続きまして、議事(3)について、先ほど冊子の第4章に進行管理と評価体制の記載がありましたが、地区別計画について、年度ごとの状況の推進委員会を報告するとともに、報告内容を各地区へ情報提供し、さらなる計画の推進につなげることといたします。これより、各地区の取組み状況や評価についてご報告を頂きたいと思ひます。時間の都合で1地区当たり3分程度でお願いいたします。欠席の地区は、資料確認のみといたし、説明を省略いたします。質問などは、全地区終了後にお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、名簿の上の順番にしますので、新飯田地区の金子委員よりお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
<p>金子委員</p>	<p>この資料に基づきまして、ご報告させていただきたいと思ひます。令和2年度、地域で集まりまして、実施状況はどうなのかということで話し合いをいたしました。平成27年度から令和2年度までの状況で評価が出ておりますけれども、当初、計画をしておりましたけれども、かなり改善はしてきていると思ひます。ただ、防災訓練なども実施しようと思っても、コロナ禍で実施がなかなかできなかったということもございまして、今ひとつ、令和2年度はA評価としておりますけれども、非常に難しい状況にあるということもございませ。ただ、私たちが名にもしないというわけにはいきませので、この期間中、高齢者を対象にしたアンケートをやってみたり、どのような要望があるのかという調査をやって、それを地道に、特に地域の高齢者の方々の要望</p>

<p>上杉委員</p>	<p>なりを聞いてまいりました。そのほか、保育園へ行って、どのようなことを要望されているのかも調べてみたいいたしまして、とりわけ最近、いろいろな問題がマスコミで騒がれますので、そういうことが発生しないようなパトロールをやってみたりしておりますけれども、地域の方々の協力で、何とか年度、年度で今後に向けたことでやってみりました。もう少し自治会のほうと私は民生委員をやっておりますので、なかなか検討する事項がまだ課題として残っておりますので、これからも引き続き、取り組んでまいりたいと思います。</p> <p>茨曾根地区の推進目標は、高齢者の楽しい地域づくりということで活動してまいりましたが、ご存じのとおり、コロナの影響でほとんどの行事等、活動が自粛されてしまいました。その結果を踏まえて、今回は評価を下げさせていただきました。皆さんはやはり集いたいという気持ちは多くあるのですが、昨年度の状況から見て、ほとんど活動できなかったということが現状です。そんな中でも、細々と地域の茶の間のほうは継続してまいりましたけれども、やはり大きな会食等を伴う活動ができなかったのでB評価にさせていただきました。</p> <p>また、子どもたちの安全な地域づくりというテーマですが、これに関してもやはりコロナというものはいろいろなところで関係が出てきておりますので、子どもと地域のかかわり合いに関しての行事、活動、すべて中止という形になりまして、その中でも細々と一回だけやらせていただいたという現状でランクを下げさせていただきました。全体評価としましては、コロナ禍でも何らかの形で活動を続けてきたので、すべて評価を丸という形で終わりました。</p>
<p>中丸委員</p>	<p>続いて庄瀬です。よろしく願いいたします。</p> <p>正直言いまして、令和2年はコロナ禍で全く活動ができなかったという中で、評価は前年のBがAになったりして、これは矛盾ではないかと言われそうなのですが、実は前年が、私は前任者の途中で交代しまして、評価という部分でAにしたいところをBにしておいた部分がありまして、来年がんばろうよという励みにしまして、一応、前年、据え置いた部分がございます、令和2年を振り返りましたら、今までやってきたことを振り返って、庄瀬地区はご存じのようにイベントが大変多ございます。桜まつりからはじまって、農村公園まつり等、とにかくイベントがたくさんあるわけですが、それらがすべて地域の子育てであったり、若者の誘導であったり、それから高齢者のひきこもり対策であったり、すべて地域の事業がそういった活動、アクションプランに連携しているのだよという部分の認識といたしますか、確認</p>

をお互いがする機会にじっくりできたのではないかという部分では、それも一つよしとして。

ただ、反省する部分は、正直いって、庄瀬がどんどん先ほども申し上げたように高齢化が進みまして、以前は全世帯の学校をやっている世帯数は子どものいる世帯数です。およそ 70 パーセントございました。だから、学校の課題が地域の課題という認識で、学校の規模などすべて学校中心でコンセンサスを得ていたという中で、今、振り返りますと、庄瀬の子どもたちは小学校で 100 人しかおりません。そうしますと世帯数にすると、世帯の 15 パーセントほどになりました。これはとにかく、中にはうちも子どももいないし、学校は関係ないやという人がいたり、また後援会費を、うちは子どもがいないから後援会費はいいわというような家庭が出てきて、学校の問題を地域の課題としにくくなっていると。正直言いまして、子どもがいますと、地域のパワーになります。子どもにかずけて地域というのはまとまるなということは実感していたところですが、先ほど言った高齢化の中でひきこもりはどうしても出てきています。なおかつ高齢者は今、サービスが豊かになりまして、デイサービスだとか、そういったものに行きますと、お茶の間がいろいろな誘いをしましても、そんなことをしたらかえって負担。週に 3 回も行っているのだからとか、そういった話もありますので、少し難しい。高齢者のためにと思いながらも、生活の中にそれが負担になるようでも困るなというような気もしております。

ただ、個々に回る中で感じたことが、高齢者の方というのは、私どもと認識が違うなど。今、行政でも、報道でも、例えば、災害時のとにかく命を第一にということで、即避難と。でも、避難所は不足しているのに、どこへ避難すればいいのと。庄瀬などは非常に広い中で、2 か所しか避難所がないわけですが、自分のいる場所も正直いって分からないお年寄りが多くいます。その人たちに、あなたはどうすればいいのといったら、ある自治会長がこう言いました。うちはニュースを聞いて停電になりそうだとか、心細くなりそうだったら、公民館を開けておくと。地域の集会所です。庄瀬には 16 の集会所がありますので、それが一つの戦力だと思っていますが、その鍵を開けて、一人でいるのがさびしかったら、そこへ集まりなど。ここは電気をつけておくからといった自治会がありました。ああありがたい自治会があるなど思ったわけですが、それぞれ広いとそれなりの考え方があるし、地域性もあるし、取組み方は違うのだなと思いつつも、それを大事にして拾っていききたいなと思って、来年度からはそれを旨としまして事

<p>西村委員</p>	<p>業に取り組んでいきたいと思います。今年はやりたいことをやれなくて発表にも値しないのですが、ちょうど終わりでございますので、反省を含めましてありがとうございます。</p> <p>昨年度は、コロナ禍でコミュニティ協議会を中心とした運動会、卓球大会、こうしたものを非常に盛んにやっているのですが、イベントが全部中止になって、人とのふれあいがなくなりました。そんな中で、今、活動が限られていますけれども、なかなか外に出られない高齢者、障がい者等に自治会長や民生委員が個別訪問して、交流会を実施したと。これは非常によかったと思います。</p> <p>また、老人会、茶の間では、数は非常に少なかったのですが、コロナの対策をしながら、マスクをして距離を取って数回やりました。そんな中で、よかった取組みでは、ひとり暮らしの高齢者や高齢者夫婦の助け合いとして、お助け隊こぼやし、これも先ほど載っていましたが、4月より実施スタートし、昨年度、十数件依頼があつて、対応しました。非常にひとり暮らしの方から助かったよという声を頂き、スタートしてよかったかなと思っています。内容は、草取りが多かったです。また、先ほど言いましたけれども、買い物支援を何とかしたい、病院に行きたいというニーズもありました。そういう移動支援については、しょうがないから自分の車で病院までいくとか、スーパーまで行くとか、そういうことがございました。</p> <p>今後は、先ほどお話ししましたけれども、ますます高齢化が進んでいきます。移動支援については、お助け隊こぼやしも検討しておりますけれども、コミュニティバスを何とかしたいと思って、新年度については検討したいなと思っています。評価としては、一応、最終年度、みんなAとしましたけれども、まだまだ課題が残っています。細かい課題がけっこうありますので、それを今年から始まるアクションプランがスタートしますけれども、6年間の取組みを生かして、支え合いづくりを充実させたいなと思っています。</p>
<p>小林委員</p>	<p>白井のほうの説明をさせていただきます。白井については、事業内容等につきましては、ほぼコミュニティ協議会の内容と重複しておりますので、コミュニティ協議会のほうでやっている事業と、また茶の間のほうの開設ということは、白井のほうで二、三か所ということで開催されております。地域の茶の間の方々につきましては、コロナ禍でございますが、開催していただいております。また、白井のほうで毎年ありました「狸の婿入り行列」につきましては、本年度は中止ということで、開催することができませんでしたが、その代わ</p>

	<p>りに10月に代替事業といたしまして、コロナをぶっ飛ばせということで、皆さんから協力を頂きまして、また感染予防対策をしっかりとしまして、おまつりをさせていただきました。</p> <p>あとはあいさつ運動などにつきましては、事業内容どおり小学校と民生委員と共同でさせていただきましたし、また行事等のPRということで、3月にはカレンダー等を作りまして、させていただく予定になっております。事業的には、毎年よりは若干差が少なくなりましたけれども、その中でできることだけでもやろうということでもさせていただきました。評価的には、できなかったことが多かったものですから、評価はBが多いかなということで、できたものについてはAということで評価をさせていただきました。臼井のほうも、できるだけ事業をやろうということで、コミュニティ協議会の事務局長また事務員のほうでがんばっておいましてけれども、できる限りということでもさせていただきましたので、また令和3年度につきましては、地域の活性化また高齢者の見守り、茶の間等、皆様方から協力を頂きまして、開催していただきたいと思っておりますし、皆さんで協力していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。</p>
<p>安達委員</p> <p>長谷川(茂)委員</p>	<p>テーマに、全員集合！鷺巻地区となっておりますけれども、全員集合するようなおまつりは大鷺夜まつりと桜灯籠まつりで600人くらいずつ集まっているのですけれども、令和2年度はコロナ禍で中止になって残念でありました。</p> <p>地域の茶の間ですが、昔は各町内に、鷺巻地区は10町くらいあるのですけれども、各老人クラブも存在して、毎月集まってやっていたらしいのですけれども、今は中鷺ノ木と桜町というところに老人クラブが地域の茶の間を開く感じで活動しております。</p> <p>あとは植栽活動を一生懸命やりまして、鷺巻センターの隣に空き地がありますので、さつまいも、グリーンカーテン、花植え、チューリップを園児と一緒に植えてもらったり、またその収穫物を保育園に食べてもらったりして、楽しんでもらっております。新しい取組みとして、昨年度、DVDを購入して、地域生活センターに高齢者を集めて楽しませようという計画をしたのですけれども、コロナ禍ということで開催できませんでした。おおむね評価を水増ししてありますけれども、今後ともがんばりたいと思っておりますし、よろしくお願ひします。</p> <p>評価はいつも迷うのですけれども、点数評価ができないのでアバウトになっていたのですけれども、今回、ひさしぶりというか、初めてA評価を二つつけました。B評価はそこそこというか、Aに近いBな</p>

小柳委員	<p> のでしょうけれども、その内容です。各事業が、今回はみんなコロナで縮小して、あとは中止となりましたけれども、できないものを何とかしようという発想でやるということで、やめるのをやめて、縮小してやったと。また継続というのは力なので、今まで事業がありましたけれども、できる限りやりたいということで縮小してやりました。 </p> <p> うちの特徴は、防災訓練と避難です。要支援避難行動者の体制というか、各自治会で把握しておりますけれども、援護する人のそういうことで援護していこうという、意識的というか、3年でしょうか。三、四年前は少し低かったのですが、最近、ようやくそういったものにも目を向けられるというか、分かってもらえるような人も増えてきていると思います。 </p> <p> 先ほど、防災士の話が出ましたけれども、大通は、令和2年は2名の新しい防災士がいて、もう少し二けたになるのです。ここに並んだ人数を数えると七、八人だと思うのですが、防災士は、うちの自治会はマックスで2年なのです、自治会長が交代するので。やはり継続となると心になる防災士を支援してもらって、本当は自治会長ではないでしょうけれどもマックスで2年やるのですから、防災士の柱があれば、そこをやっていけば、何とか回っていくのではないかと思うので、まだ足りないと思いますけれども、また今後も、そういった心になるようなものができるようにやっていきたいと思います。 </p> <p> 評価はAが二つ、あとはBです。一応、6年おりますので、また来年度から新たになると思いますので、やっていきたいと思います。 </p> <p> 白根コミュニティ協議会は、みんなにやさしいシロネもんということで活動させていただいております。ご存じのとおり、白根コミュニティ協議会は、自治回数が84あります。ですので、実質の活動に関しては三つに分かれて、南部、中部、北部という形でやっております。評価に関しましては、その△の三つの代表の方にさせていただくという形で実施させていただきました。今年度は、皆さんおっしゃるとおり、コロナ禍でやりたいものが何もやれないという状態です。ただ、その中でも、やはり少しでもできることからということで実施させていただきました。評価表を見ていただくと分かるのですが、下のほうに、横に線が引いてあります。というのは、大風合戦及び児童センターで行っていたふゆまつりというものが実施不可能でした。ですので、評価の対象から外させていただきました。 </p> <p> おおむねAという評価を頂いているのですが、少し甘いのかなと思ったりもしますが、コロナ禍でもやはりやれることは、少しずつでも </p>
------	--

<p>仲山委員</p>	<p>やろうねという形でやれたならば、A評価でいいのではないかと。ただ、来年に向けては、だんだんコロナの状態もある程度、把握されてきているので、その中で集まれる機会を作りながらやっていけたらなと思いました。ですので、甘いかもしれませんが、上の評価も一応〇という形でご報告させていただきます。来年度、どのような活動ができるのかということは、未知数的なところはありますが、なるべくやれる範囲でやっていきたいと思っています。</p> <p>味方地区のネーミングですが、「なじらねばかい～ねいききふれあいささえあい」ということが、私たちの地区の目標というか、そういう地区になりたいということが、よそに比べてばか長いような名前ですけれども、そういうことが表れている名前ではないかと思います。ネーミングが長すぎるのではないかということで変えたほうがいいのではないかという話もあったのですが、このネーミングこそが味方が目指しているものなのではないかということで、また同じようなネーミングになりました。そして、今年は皆様と同じように、コロナということで予定していたものがなかなかできなかったのですが、その中でもできることは精いっぱいやって、評価ということになりまして、来年度に向けて、今度は同じAでも、もっと中身の濃いAになろうということです。老人会は、今年度は敬老会なども中止になりましたけれども、老人会ができなかった経費や何かを地域の茶の間が多いので、そこに集まる時に、皆さん出かけてくるときに家庭で検温してきてもらうのですけれども、忘れたという方もいらっしゃるで、全部の地域のお茶の間に非接触の体温計を配布いたしました。うちで測ってこなくても、そこへ行って測れば、覚えてきた数字を忘れることもなくて、皆さんによるこばれていました。</p> <p>笹川邸の草取り等や何かはできなかったのですが、年末のすず払いや何かには、例年に比べて多くの方が参加していただきました。障がい者の集まりは、コロナでできなかったのですが、男性ボランティアの育成を図ることが、ボランティアだけではなくて、ほかの事業でも参加が少なくて頭を悩ませているところなのですが、少しボランティアで男性の方が参加してくださったり、小さなグループで花いっぱい虹の会とか、子ども会で親父が集まって、おやじの会とか、お～いよおの会とか、いろいろなさまざまな会があつて、地域の方と交流を持っています。このコロナに負けずに、また来年度もどのようになるか分かりませんが、計画したことを順次、遂行して生けるように努力していきたいと思っています。ありがとうございます</p>
-------------	--

<p>田辺委員長</p>	<p>ました。</p> <p>ありがとうございました。月潟地区は、今日、委員が都合で欠席ですが、私のほうからあまりよく分からないのですけれども、説明させていただきたいと思っております。</p> <p>先ほど、味方の言われたとおり「あいさつ声かけ思いやりつながりふつつ獅子の里」ということで、月潟を表しております。そんな中で、それほど、今まで皆さんもコロナの関係で、ほとんどの事業が半減したというような話がありますが、当地区もやはりコロナの関係で、そううまくは行っていなかったなと思っております。</p> <p>項目別に見ておりますと、世代間交流をしようという関係でもって、セーフティスタッフの活動を充実。これも今まではあまり小学校の見守りといいますか、登校、下校の際の見守りスタッフがだんだんこれも年を取って、若い人がなってくれないということでだんだん減ってきたのですけれども、また後継者ができて、セーフティスタッフの募集も含めているのですけれども、それが充実してきたかなということでBでございます。</p> <p>ふれあいスクールは、学校のほうでこういうふれあいスクールはやめようということで今までしてきたのですけれども、学校の方針で授業の関係でそういう時間はないということで中止になりましたので、横線になっております。</p> <p>茶の間も今までどおり、茶の間もけっこう各地区、各集落ごとに活発的にやっているようですので、Bということでございます。今年は子供たちを積極的に招くことはできなかったが、今後も継続して世代間交流を実施していくということです。健康相談や写真会、地域にある薬局から、これは一つの茶の間ですが、去年は月潟の内科クリニックというか、月潟内科クリニックのおかげ。看護師、あるいは医療関係の従事者にいろいろの地域ごとに月一遍の程度で講習会をやったのですけれども、これも非常に好評で、これからも続けていきたいなと思っております。</p> <p>ボランティアですけれどもこれもやはり独居老人などといった人たちの食事を週一遍作っているボランティアグループ南天の会というのがあるのですけれども、それらを活用しながら、非常にこれも会員数はけっこういるのですけれども、なかなか高齢化してきて、うちもそろっと開始をしたいという人も出てきていますので、その会員の募集等も含めた中で、何とかやっているということでございます。要はそれらに携わってくれるボランティアの育成を柱にして、これからも一</p>
--------------	--

<p>事務局</p>	<p>緒にやっっていこうということと、あと小中学生をこういうボランティアの関係の講演会みたいなものも、学校を通じた中でひとつ教育の中の一環として、そういうことを取組みにしていっていいのではないかなという話もありました。簡単でございますが、月潟も終わります。</p> <p>皆さん方から、いろいろご報告がありました。今年度もやはりコロナの影響で地域活動が制限されたということもあると思います。その中でも知恵を出し合いながら、工夫しながら取り組んでいる地区もあったと思います。各地区の活動報告について、何か伺って見たいというような苦労話などございましたら、各地区のことでもけっこうでございますので、質問なり、聞きたいことがありましたらお願いしたいと思いますが、いかがですか。今、各地区の発表があったのですが、地区以外の団体の方から何かございましたら、聞きたいことはありませんか。これからもこういうコロナに負けないように、できる範囲で地域のこういう福祉活動をひとつ進めていってほしいと思っています。ほかにないようございましたら、議事を進みたいと思いますので、議事（４）について、事務局から説明をしていただきたいと思っています。</p> <p>南区社会福祉協議会の横山と申します。よろしくお願いいたします。私から、（４）地区別計画の評価方法について、ご説明させていただきます。資料４をあわせてご覧いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。今年度までの評価につきましては、皆様ご承知のとおり、本日の次第にあります今ほどの（３）令和２年度の地区別計画の取組み状況についてで、各地区アクションプラン推進委員の皆様からご報告がありました様式となっております。毎年一つ一つの推進目標に対して取り組んだかそうでないかをA、B、C、Dでつけ、あわせて取組み内容を明記するにとどまり、次年度へつながらない状況がございました。また、評価会議をする中で、各地区の皆様からさまざまなご意見や声を頂いておりました。そこで第３期計画につきましては、皆様からの声を基に社会福祉協議会内で検討し、このような形で本日、配付をさせていただいております。今までと違って、すべてに対し、やった、やらないということではなくて、この計画の中から何に取り組むかを打ち合わせの段階から地域の皆様と相談させていただき、その取組み内容の実績を取組み（実績）欄に記入し、その取組みに対する評価、課題を挙げ、それに対してどう次年度につなげていくかを記していきたいと思っています。基本、この表は、南区</p>
------------	--

社会福祉協議会の地区担当が地域の皆様と相談しながら作成をいたします。

次に、評価表の真ん中の新たな課題や取り組みの記入欄ですけれども、これは昨年、各地区で座談会を開催する際にご説明させていただきましたけれども、コロナウイルス感染防止を配慮しての座談会開催となったため、6年間の計画期間内であっても、必要に応じて随時新たな課題に対する取り組みの追加を行えるように欄を設けました。なければ記入はいたしませんけれども、評価会議等を進める中で、このような取り組みも必要ではないかと、上がったときに記入をさせていただきたいと思っております。

また、下段の取り組みの様子は、写真で活動の様子をお伝えしようと考えております。写真を入れることで活動がイメージしやすくなりますので、さまざまな機会において広報できればと考えております。ぜひこの評価表をそのままでもよいと思いますが、コミ協だよりへの掲載や回覧板等においてご協力を頂けますと、課題の一つでもありますアクションプランの周知を担う一助となると思っております。

続きまして、もう一枚の様式ですけれども、こちらは実施にあたってのチェック項目となります。地区別計画は住民計画であるため、住民参加のもと活動したかなど、6項目について確認することといたしました。

最後に、今まで記入する欄がなかったのですが、参加者欄を設けております。引継ぎや取り組みの参考とも考えております。

以上となりますけれども、第3期計画は、来年度が初年度となる大切な年度となります。打ち合わせや活動を進める際には、ぜひ南区社会福祉協議会の地区担当も参加させていただきたいと思っております。先ほどの分野別の計画の中でも、小林委員と西村委員からもご意見ちょうだいしたところですが、茶の間の立ち上げについては、もちろん社会福祉協議会全体で考えていかなければいけないとも考えておりますけれども、臼井地区でも茶の間の件も載っておりますし、これは仕切り直しで、各関係推進委員も含めて連携しながら考えていきたいと思っておりますし、また小林地区におかれましては、先ほど、担当からもご説明申し上げましたが、移送の勉強会を明日行います。全体会で一回やりますけれども、その中に行政の公共交通担当の地域総務課、それから高齢介護係からオブザーバーとして参加も頂くことになっておりますので、その辺は行政とも連携できるのかと考えてお

	<p>ります。</p> <p>次年度以降は、地区の課題に合わせた中で、また勉強会出前講座みたいな検討会みたいなものも開ければと思っておりますが、そういった形でほかの地区も含めて、社会福祉協議会で訪問した際に、いろいろな課題を聞いております。そういったところを地域の皆さんと一緒に検討していければと思っておりますので、ぜひご協力のほどよろしくお願いいたします。それを進めていくためにも、地区の推進委員の皆様にも、ぜひご協力を頂かなければいけない部分が多々あると思っておりますので、今後とも引き続き、よろしくお願いいたします。</p>
田辺委員長	<p>ありがとうございます。ただいま、地区別計画の評価表（案）について説明がございました。評価表につきましては、各地区の推進委員も加わって評価をしていくこととなります。皆様からこれについて何か意見がございましたら、挙手をして聞きたいことがありましたらお願いしたいと思います。よろしくお願い致します。評価は推進委員一人でやるわけではございませんので、うちのほうではコミュニティ協議会、社会福祉協議会。そういうコミュニティ協議会が主体になって社会福祉協議会も加わってやっているのですけれども、皆さん方もどういう関係でやってられるか。今までの評価方法でいいのか。それとも区社会福祉協議会のほうで示された案がいいのか。この辺、これでいいでしょうか。聞きたいことがあれば挙手をお願いします。</p>
上杉委員	<p>評価のほうですが、A、B、Cと3段階になっていて、実際に毎年、評価する際に、非常に甘くつける地域と厳しく算定する地域とで、地域の方の満足度なのかと思って、それはそれで受け入れているのですが、今回、3段階なのですが、以前、4段階である程度、何パーセントというか、そういった指針がここに記されているのですが、新しい部分にも、ある程度、公平になるように、何パーセントまで達成できたらAとか、Bとかという形で評価をさせていただくと、最後の評価の段階で、皆さんも判断が付きやすいのではないかと今、感じました。</p>
田辺委員長 事務局	<p>ありがとうございます。横山さん何かありましたら。</p> <p>今、ご意見を頂いたところなので、それも含めて、また再度、評価しやすいように修正したいと思います。よろしくお願い致します。</p>
田辺委員長 小林委員	<p>ほかにありますか。</p> <p>横山さんの最初のほうを聞き逃しているかと思うのですけれども、1枚目の評価表については、取組み（実績）とあるのですけれども、これは大体12月とか、1月とかで評価すると思うのですけれども、各地区でアクションプランの中のものについて、取り組んだものについ</p>

事務局	<p>て、評価するのか、それとも全体的なものを取組みの中で評価するのかということが分かりづらいのと、年度当初に住民の皆様または各地区の自治会長にアクションプランとは何かということをも説明してそこから1年間どうですかという最終的な評価になると思うのですけれども、年度はじめにこういうことを取組みましょうということで考えての評価になるのか、どちらなのでしょう。</p> <p>まず今ほどの件ですけれども、やはりこのアクションプランを推進するためには、自治会の皆さんの協力も必要というか、一緒に進めていかなければならないと考えております。また役員が1年で交替されたり、2年で交替というところで、替わる地区も多くありますので、説明する機会を作ることができましたら、ぜひ総会でも構いませんし、お時間を頂いて一緒に説明させていただきながら確認して、地域の皆さんと一緒に進めていければと考えております。もちろんこちらからも説明しますが、地域の皆様からもいろいろなところから声をかけてもらって、このアクションプランを実施、具現化できるようにご協力いただければありがたいと考えております。</p> <p>評価についてですけれども、基本的に各地区、地区別計画ができあがりましてので、その中でまず重点的にどういう課題に取り組んでいきたいかというところを地域の皆さんと検討して、それに対して評価するということになりますので、もしかしたら地区によっては、今年はいくつか重点で、これしかできないかもしれないし、ほかの地区によっては同時進行で、いろいろな部会であるとか、地区社会福祉協議会とか、いろいろな関係団体が地域の中ではあると思いますので、その関係団体と協力し合いながら、いくつか実施できることもあると思いますが、そこをアクションプランの中で評価をしていきたいと思っています。ただ、2年目以降につきましては、新たな課題や取組みも出てくると思いますので、こういったものも追加されて、評価していくというような形になっていくと思っています。説明になっていまずでしょうか。</p>
小林委員	<p>大体今、説明の内容は分かったので、そうすると1枚目の評価表というのは、年度当初に1年間について、これを取組みましょうということでお話をした中の評価ということによろしいですか。</p>
事務局 田辺委員長 西村委員	<p>そうです。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>今の評価表についてですけれども、取組みの代表的な例を記入することは分かっているのですけれども、その評価と課題と一緒に</p>

	<p>なっていますよね。だから評価はその年の実績についての評価で、その中で課題と一緒に載ってしまうと、Aにしたのに、まだ課題がありますよと。そうした場合に、その評価というのは、私だけかもしれませんが、Bになるとか、そういった考え方になるのではないのでしょうか。表の作成のしかたは、評価は評価でも、ひとつ分けていただいて、その中の課題でこういうものがありますよというようなスタイルにしたほうがいいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>分かりました。ご意見たまわりましたので。検討してまた修正したいと思います。また、これがすべてということではないので、またやってみて、皆さんとともに検討していきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。</p>
田辺委員長	<p>ありがとうございました。ほかにないですか。なかったら、議事(5)について進みたいと思いますので、事務局、説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>地域福祉担当星野と申します。よろしくお願ひします。</p>
	<p>新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会開催要綱の一部改正案について説明させていただきます。資料5をご覧ください。</p> <p>このたび、一部改正する内容は、要綱の題名になります。現在、要綱の題名は、新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会開催要綱で、題名に「新潟市」がついております。計画名は、南区地域福祉アクションプラン、委員会名は、新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会であり、単純に題名と計画名をそろえたいということで、新潟市を削る一部改正を3月1日付でさせていただきたいと思ひます。</p>
田辺委員長	<p>ありがとうございました。事務局から開催要綱の改正についてあったわけですが、要綱のタイトルを少し変えるものでございます。皆様方から何か質問があればお願ひしたいと思ひますがいいのでしょうか、軽微なものでございますので。これはこれで終了したいと思ひます。</p> <p>続きまして、連絡報告事項について事務局よりお願ひいたします。</p>
事務局	<p>報告及び連絡をさせていただきます。まず資料6をご覧ください。</p> <p>委員の任期は今年度末で終了となりますので、今後、委員の改選がござひます。委員の任期については、開催要綱の第3条に、任期は原則3年とし、任期の途中で交代した場合は、後任者は前任者の在任期間とする。第3条第2項で、委員は再任されることができひる。ただし、通算の在任期間が6年を超えて再任することはできないとありまひす。事務局としては、来年度以降の委員構成を検討させていただき、推薦</p>

<p>田辺委員長</p>	<p>を依頼する団体に対しては、すでに推薦依頼を送付させていただいております。推薦に関しては、男女共同参画の観点からできる限り女性委員を登用していただくよう、あわせてお願いしてあります。今後、3月上旬をめどに団体から推薦を頂く手はずになっておりますので、ご報告申し上げます。なお、2月21日付の区報で公募委員1名を募集する記事を挙げておりますので、あわせてご報告させていただきます。</p> <p>最後に連絡です。次回の推進委員会は、令和3年の8月を予定したいと思います。日時等については、新しい体制になってからの日程調整になりますので、しかるべき時期に案内を送付する予定です。</p> <p>ただいま事務局より、報告連絡がございました。今の件で何かご質問がございましたら、お願いいたします。ありませんか。ないようでございますが、本日、議事等をすべて終了いたしました。全体を通して何か質問がございましたらお願いしたいと思います。</p>
<p>小林委員</p>	<p>アクションプランのことでないですが、先ほど出ていました、保健会の件ですけれども、せっかく保健会の代表の方が出ているので、少しだけお伺いしたいのですけれども、臼井地区14自治会あるのですけれども、その中で保健会がない自治会があります。でも、臼井地区の保健会というものはあります。先ほど、委員の方が言われたとおり、保健会の連合会のほうに地区から代表を出さなくてはいけないときがあって、うちの部落は保健会がないのですけれども、たまたま臼井地区の連合会のほうに代表に出ていかなくてはいけない番に当たって、保健会がないのですけれども、うちの自治会からお願いして、代表が臼井地区の保健会に出て行って、そこから連合会のほうの代表に出て行ってという流れがあったのです、何年前かに。</p> <p>なぜ保健会がなくなったかという、昔はいろいろ事業などされていたのですけれども、事業をすることもなくなったし、保健会をやめますかというお話で、うちの地区は保健会がなくなりました。一番大きい臼井地区のメインである臼井地区も保健会がありません。そういう中で、先ほど言いました保健会に協力を頂いて、アクションプランを進めていかれるようになったのですけれども、では保健会というのは、どういう活動があって、何をして、地域と連携してやっているかということが、私は保健会に出たことがないので分からないので、もし簡単にご説明いただけるようであれば、お聞きしたいということです。</p>
<p>田辺委員長 事務局</p>	<p>役所のほうで分かりますか。</p> <p>地域健康係の斉藤です。</p> <p>今ほどの質問に明確に答えられるかどうか分かりませんが、14の地</p>

	<p>区のそれぞれの保健会がありまして、地区の保健会でそれぞれ活動してもらっているところですが、やはり 14 の地区の保健会の中でも、町内会から推進委員を出せないという町内会もどんどん増えてきておりまして、町内会に推進委員を出せないのだけれども、その町内会で会費だけ払っているという地区もありまして、それで保健会の地区活動をやっているというような現状です。地区によって活動はさまざまなのですが、コミュニティ協議会の事業とタイアップしてやっている地区保健会もありますし、出てきていただいた推進員の方々と担当地区の保健師と話し合いながらやれることは何かということで、行事や活動などを一緒にしている段階です。町内の実情をいろいろ抱えている問題。今、やはり根本的に保健会を見直すべきだという意見もいっぱい出てきておりますので、地区の現状も踏まえながら、また活動について考えていく時期かともちらも思っているところです。</p>
小林委員	<p>ちなみに保健会という中で、どここのところでもいいですが、例として、こんなことをしているということはあるですか。</p>
上杉委員	<p>茨曾根地区の保健会ですが、非常に大切な役割を担っておりまして、世代間交流のときの食の炊き出しではないのですが、そういったときの活動など、そのほか何らかの行事のときには、保健会として婦人部隊が活躍していただく機会、去年はコロナで自粛しましたけれども、非常に大切な位置を示していると思います。健康を推進するという活動のほかに地域として、女性として、活躍できる場所だと保健会はそのように感じておりますが、今、挙がった現状で、確かに茨曾根地区でも高齢化率が上がり、同居世帯が減ってきているので、決める方法としては、地域の中で順番に回っていくという決め方を今現在、やっているのですが、どんどん高齢化が1軒抜かして次の人が来年という感じで1年交替で若い人も参加できるようにやっているのですが、その数がどんどん減ってきているので、将来的には臼井のようになり手がないという現状は目前には来ていると実感しています。</p>
小林委員	<p>時間がないのもう一点だけ聞いていいですか。</p>
	<p>保健会が大事なことは私も分かるのですけれども、いろいろ臼井地区についてもお弁当の配達をしていただいたり、いろいろやっていただいているので、それは全然必要だと思っているのですけれども、必要でないという考えの部落があるのです。となると、そういうことが伝染すると基本的に地区で保健会をやらないのではないのかという考え方も出てくるときがあると思うのです。では地区に保健会がなくても、今ほど言われた事業については、地区の婦人会の方からやってもらう</p>

<p>田辺委員長 小林委員 小柳委員</p>	<p>とか、それで収まるのであれば、それでいいのかと思うのですが、保健会を継続していく中で、こういうことに対して、やはり保健会があったほうがいいのだよというものをもう少し市やいろいろな面で、各地域のほうに落とさせていただいたほうがいいのではないかと。保健会というのは、昔で言う若妻会なのです。その若妻会も今はないので、高齢の方がなっている何会か分かりませんが、老人会みたいになってしまっているのです、昔の若妻会で、各地区で若い人が集まって何かしましょうよという流れかと思うのですが、どうしても、高齢になるということは、どうしても若い方が入らないということであって、コミュニティ協議会のいろいろな事業についても若者が来ないと同じことなので、だから社会福祉協議会も、市も、保健会が必要であるという認識を地域のほうに落とせる何かがあればいいのかなと。もし本当に必要でなければ、改革をしていくという流れもあってもいいのではないかと思いますので、また検討していただければと思います。</p> <p>大変貴重なご意見、ありがとうございました。回答は要りませんね。要りません。</p> <p>時間がない中、すみません。</p> <p>私は、分野別のほうで子ども・子育て支援の活動をさせていただいております。すみませんが、資料2の1ページを見ていただくとありがたいのですが。</p> <p>1ページ目の妊娠初期から切れ目ない支援の2番目のところに、子育て中の保護者同士の交流促進、ネットワークづくりというものがあります。実は、私は、子育て支援リーダーの活動をさせていただいております。2021年度の計画のところを見ていただくと、左から5番目、どんな活動をしているかということで、子育て広場やBPやNPと書いてあるのですが、実は私たち、ずっと今まで活動していたのは、児童センターや児童館や子育て支援センターで活動をさせていただきました。ただ、やはりもう少し外部の人との協力なども考えまして、来年度に至っては、屋外の交流を少々考えております。そうすると屋外ということは、いろいろな市民のところへ出かけていくことがあるかもしれません。ですので、そういうときはご相談をさせていただきたいので、よろしくお願ひしたいと、この団体はどんな団体なのかと言われると、私たちが敷居が高いので、皆さんの頭の中に少し入れていただくと、とても助かります。貴重な時間ありがとうございました。よろしくお願ひいたします。</p>
--------------------------------	--

田辺委員長	<p>ありがとうございました。私の地区月潟には、そういう子育ての広場がございませんので、この前、学習館で勉強させてもらいまして、区やそういうものにひとつ要望しましたので、ぜひ月潟にも顔を見せていただきたいと思っております。</p>
山田（久）委員	<p>一つだけお尋ねしたいのですが。新型コロナウイルスのワクチン接種について、今、南区ではどのような手法で、ニュースなどによりまずと集団で集めてやる手法ですとか、地域のお医者さんでというようないろいろな手法を各自自治体によって検討中ということなのですが、今現在でお話しできる範囲で構いませんので、何かお話しできることがありましたら、お尋ねしたいと思っております。</p>
事務局	<p>私どものほうから具体的にこうですということが、今まだお伝えできない状態ではあるのですが、少しずつ決まっているところもございまして、2月22日に市のホームページにコロナワクチンのことについてページを設けましたので、そこで随時、新しい情報をお出ししていくというようにさせていただいておりますので、そこを見ていただくことが、一番新しい情報を取っていただけるところかと思っております。ただ、どのように進めていけるのかということは、保健所からもいろいろな照会が私どものところにも来ておりますので、今、検討している段階かなというところですので、まずはホームページをご覧くださいと思います。よろしくお願ひします。</p>
山田（久）委員	<p>ありがとうございます。</p>
田辺委員長	<p>ほかにありませんか。</p>
健康福祉課長	<p>今で少し補足ですけれども、せっかく皆さんがいるので。</p> <p>昨日時点での情報だと、集団か個別も未定という状況なのです。3月28日号の市報特別号というものが出る予定。そこでお知らせする。高齢者の方々については、医療従事者の次が高齢者優先ということなので、3月の下旬にクーポンが発想される予定だったのですけれども、昨日またワクチンの出荷時期や導入時期が若干ずれるという話だったので、ここは変わるかもしれませんが、昨日時点の情報だとそんな感じです。</p>
田辺委員長	<p>皆さん方からいろいろ貴重なご意見や質問がございまして、本当にありがとうございました。これで、この会議の進行を事務局にお返ししたいと思っておりますので、つたない司会でございましたが、ありがとうございました。</p>
健康福祉課長	<p>時間も随分延びていますが、黙っていようと思ったのですが、今日が今年度最後の委員会を予定してございまして、委員交代になる方も</p>

事務局	<p>いらっしゃるので、ひとことだけ御礼申し上げます。</p> <p>盛りだくさんの内容、本日どうもありがとうございました。特に1や2については、いろいろなご意見やご指摘も頂きまして、ありがとうございます。また、お帰りになってからお気づきの点があれば、事務局にお寄せいただければありがたく思います。</p> <p>3番目、皆様からのご報告をお聞きして、感心というか、感動しました。皆様のまとめ方がとても上手で、大変なご苦労があったのだろうということも想像できましたし、何よりこのコロナ禍の中、ふれあいや交流といった地域福祉、本当に相性が悪い中でも、これだけ活動をしていただいたこと、改めて感謝いたします。また、さまざまな工夫をして、活動を実施、再開していたことがよく分かりました。皆さん前向きで、地域をよくしていこうというお気持ちが見えまして、私は、残念ながら南区の住民ではないのですけれども、うらやましく思っ、南区の課長をやらせてもらってよかったなと振り返っていました。</p> <p>このコロナに加えて、このたびの大雪、それから人口減少は目に見えない危機と感じています。当然ですけれども、行政の事業、税金を使ってやっておりますので、見直すべきところは見直しながら、加えて協働や連携など、よく使われる言葉ですけれども、改めて心に刻んで、皆さんと知恵を出し合いながら、前向きに、しなやかに取り組んでいきたいと思ひます。引き続き、どうぞよろしくお願ひいたします。あまり言い過ぎると職員に怒られますので、これくらいにしておきます。ありがとうございました。</p> <p>長時間にわたりまして、ありがとうございました。今後も、南区地域福祉アクションプランを推進していきたいと思ひますので、お力添えをよろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>それでは、本日予定したものがすべて終了となります。なお、お帰りの際も、手の消毒を忘れずにお願ひいたします。大変ありがとうございました。気をつけてお帰りください。</p>
-----	--